所報　平成3年9月15日創刊　平成31年4月15日発行・毎月1回15日発行・No. 317
一般社団法人 協同総合研究所 ISSN 1344-7300

協同の發見

きょうどうのはっけん

第317号
2019.4

特集　全国よい仕事研究交流集会2019　①

◎ 全国よい仕事研究交流集会2019　全体会
- 記念企画　平田オリザさんと語る「これからの『働く・学ぶ・暮らす』と『地域』のあり方」
- パネルディスカッション「社会をつくるよい仕事・よい職場・よい暮らし」　聞き手　古村 伸宏
  報告者　大澤 喜代美、市川 翠、金田 由希、西林 正男、迫田 英水
  コメンテーター　宮﨑 隆志　コーディネーター　玉木 信博
- 座談会「よい仕事・よい職場・よい暮らし」
  津田 益男×阿川 周平×久保 愛×池田 優子　コーディネーター　竹森 鉄
- 閉会挨拶　田中 羊子

◎ 感想文から見る「全国よい仕事研究交流集会2019」の学びとは

■研究会報告

社会的困難にある人びとと共に働くワーカーズコープの実態調査報告
報告会概要　利根川 徳　調査報告　大高 研道
実践報告　佐藤 深喜、小林 みゆき、梶川 竜也
コメント　加藤 彰彦、鏑木 奈津子、古村 伸宏、走井 洋一
閉会挨拶　田中 羊子

■ワーカーズコープで働く若手リーダー紹介(Vol.25)

川合 良輔　地域社会で協同の関係をつくる協同労働へ

■巻頭言

馬場 幹夫　「命」を根源においた社会にしていく「よい仕事」

一般社団法人 協同総合研究所
JAPAN INSTITUTE OF CO-OPERATIVE RESEARCH

題字／藤原 桂州

協同の發見

第317号 2019.4

特集　全国よい仕事研究交流集会2019　①

目 次

巻頭言
「命」を根源においた社会にしていく「よい仕事」 …… 2
馬場 幹夫(センター事業団専務補佐/東京統括本部長/会員)

特集　全国よい仕事研究交流集会2019　①
・特集にあたって …… 4
相良 孝雄(協同総合研究所　事務局長)
・全国よい仕事研究交流集会　討議要綱　スローガン
社会をつくるよい仕事　～はたらく・暮らす・幸せの円環づくりへ～ …… 6

◎全国よい仕事研究交流集会2019　全体会
・記念企画　平田オリザさんと語る「これからの『働く・学ぶ・暮らす』と『地域』のあり方」 …… 18
聞き手　古村 伸宏(日本労協連理事長)
・パネルディスカッション「社会をつくるよい仕事・よい職場・よい暮らし」 …… 37
報告者　大澤 喜代美、市川 翠(センター事業団　未来の暮らしにつなげる事業所ほくぽ)
金田 由希(ワーカーズコープちば　生活自立・仕事相談センター若葉)
西林 正男、迫田 英水(センター事業団　広島北部事業所)
コメンテーター　宮崎 隆志(北海道大学　教授)
コーディネーター　玉木 信博(日本社会連帯機構　事務局長)
・座談会「よい仕事・よい職場・よい暮らし」 …… 62
津田 益男(センター事業団　尼崎事業所)×阿川 周平(センター事業団　山口宇部出張所)×
久保 愛(センター事業団　松本事業所)×池田 優子(センター事業団　ふじみ野地域福祉事業所)
コーディネーター　竹森 鉄(センター事業団　中四国事業本部)
・閉会挨拶 …… 74
田中 羊子(日本労協連 副理事長/センター事業団 理事長)
◎感想文から見る「全国よい仕事研究交流集会2019」の学びとは …… 79
編集：相良 孝雄(協同総合研究所)

■研究会報告
・社会的困難にある人びとと共に働くワーカーズコープの実態調査報告 …… 88
報告会概要　利根川 徳　(協同総合研究所 専務理事)
調査報告　大高 研道　(明治大学 教授／協同総研 常任理事)
実践報告　佐藤 深喜　(センター事業団酒田地域福祉事業所 所長)
小林 みゆき(センター事業団上田事業所)
梶川 竜也　(センター事業団博多事業所 所長)
コメント　加藤 彰彦　(沖縄大学 前学長)
鏑木 奈津子(厚生労働省 自立支援企画調整官)
古村 伸宏　(日本労協連 理事長)
走井 洋一　(東京家政大学 教授／協同総研 常任理事)
閉会挨拶　田中 羊子　(センター事業団 理事長)

ワーカーズコープで働く若手リーダー紹介(Vol.25)
地域社会で協同の関係をつくる協同労働へ …… 132
川合 良輔(センター事業団　流山地域福祉事業所所長)

労協連だより　髙成田 健 …… 138
研究所だより　利根川 徳 …… 139

巻頭言

「命」を根源においた社会にしていく「よい仕事」

馬場 幹夫（センター事業団専務補佐/東京統括本部長/会員）

３月２日～３日の全国よい仕事研究交流集会2019では、劇作家平田オリザさんと労協連古村伸宏さんとの記念企画、大田堯先生（日本子どもを守る会会長）の動画もありましたが、共通しているのは未来の社会づくりに向けて、「命」が根源的で大切であることを共有した集会でした。

大田堯先生はワーカーズコープの保育実践を「子育て」ではなく「子育ち」であると言いました。「子育ち」には、子ども自身が未来をつくる主体である意味を含んでいます。そして、「命」を３つの特徴から述べています。それは「命とは、顔もDNAも違うように同じ命は無い（命の重さはみんな一緒ですが）こと。２つ目は、自ら変わる力があること。３つ目が、かかわるということ」です。「違う・変わる・かかわる」はどれもつながっていますが、私はよい仕事を深め、実践する上で「かかわる」こと、つまり豊かな「関係性」をつくる場をどれだけつくれるのかが大事だと考えています。

また平田オリザさん、大田先生から出てきた言葉として、「折り合いをつける」「前向きな不完全さ」もありました。「みんな違ってみんな大変」であることを超えて生きていく時代において、高度経済成長の時代のように、経済成長と幸福が一体ではない時代が今になります。そして大変な現代を乗り越えるキーワードとして、「対話」「協同決定＝合意形成能力」があげられていました。Aの意見、Bの意見があったときに、AとBどちらの意見でもなくCという結論を編み出していく対話、その違う結論になる喜びを感じられる時代だということでした。私はその話を聞いて、一つの色に染めていくのではなく、一人ひとりの違い・多様性を認め合い、受け止めあえる対話力が必要であり、新しい社会づくりに向けて、当たり前であることの新しさを感じました。

センター事業団東京の組合員の個人レポートを読むと、すでに対話を通じた取り組みを実践していることがわかり圧倒されました。一つ紹介します。東京の武蔵野市にある「テンミリオンハウスきんもくせい」所長の高田夏子さんは命を踏まえたレポートを書いていました。

【「自分が幸せでなければ人を幸せ

にできない」－自分に腹がたったり、他人に腹が立ったりしたときは、一歩引いて、相手がどうして自分には理解出来ない行動をされているのか（相手にとってなぜそれが正当なのか）客観的に状況を見極めて、絡まった糸をほぐしていく作業だと思います。誰もが同じ思いで働いているのではないこと、全員の言い分に公平に耳を傾けていくことがよい職場にしていく第１歩だと思います。よい暮らしも同様です。協同労働を伝えることは、言葉より実践だと思います。実践した後で、これは協同労働だからできたと言葉で説明することが大切です。】

「よい仕事とは、よい職場・よい暮らしにある」と一つに重ねているのが印象的で、高田所長がよい職場を作り上げていく上で、一人ひとりを信じていく強さを感じました。

２日間の全国よい仕事研究交流集会では、協同労働を実践する際に大事にしていくこととして、自らの「弱さ」「未熟さ」「苦しさ」を仲間や地域に率直にさらけだせているかどうかが必要だと感じました。１日目の全体会パネルディスカッションのコメンテーターの北海道大学宮崎隆志先生からは「ワーカーズコープの30年の歩みは、２層（入札・委託・指定管理等）の事業・運動で鍛えられた経験が、生きづらさを抱えた当事者が立ち上がる取り組み、地域の人たちを主体になる取り組みに活かされているのではないか」とのコメントがありました。これは全国のワーカーズコープで働く仲間に対しての激励のコメントだと思いました。２日目第２分散会のコメンテーターの青山学院大学香川秀太先生からは、よい仕事・よい職場を深めていく上で、「特異性＝良さを引き出し活かしあう」ことを教えていただきました。特異性が意見として反映されると、他人に愛着がわき、より頑張れる力、もっと学ぼうと考え、自分の良さや価値を自ら発見していくことにつながっていきます。

２日間での集会を通じて、「雇われ者からの抜け出すこと」や「制度を超える実践」の２つの格闘を乗り換えてきた30年の物語は、組合員一人ひとりの中にあることを確信しました。

現在、子ども・子育ちケアPJを推進する立場にいますが、「協同労働の子育ち指針」を全国の仲間と１年半議論を重ね、2018年に完成しました。指針のベースは大田先生の「命」の特徴が主旨になっています。そして「根底的自発性」＝「子どもは育ててあげる存在ではなく、子ども自身に自ら育つ力が備わっていること」を大切に、子どもは未来をつくる主体であることを前提として、子どもが育つ地域づくりを推進していきたいと思います。

●今月の表紙

全体会で行われた座談会「よい仕事・よい職場・よい暮らし」では、こたつに入った４名の報告者が、ワーカーズコープ入団のきっかけや、協同労働を感じたエピソードなどを語った。記念講演、座談会と、新しいスタイルを取り入れた集会では、会場を巻き込んだ議論も行われ、盛り上がった。

所報　協同の発見　４月号（通巻 317号）

2019年4月15日（毎月1回15日発行）
編集・発行／一般社団法人 協同総合研究所
代表／島村 博
〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-44-3 池袋ISPタマビル7F
Tel 03（6907）8033　Fax 03（6907）8034
Email　kyodoken@jicr.org　　URL　http://jicr.org/
郵便振替口座　00140-7-552949

定価 1,300円（本体 1,204円）